



2022年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月9日

上場会社名 サンワテクノス株式会社
 コード番号 8137 URL <https://www.sunwa.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 玉木 克也

TEL 03-5202-4011

定時株主総会開催予定日 2022年6月24日

配当支払開始予定日

2022年6月9日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|---------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期 | 154,414 | 14.6 | 4,804 | 123.2 | 5,195 | 102.4 | 3,577 | 100.3 |
| 2021年3月期 | 134,769 | 2.3 | 2,152 | 16.5 | 2,567 | 19.7 | 1,786 | 33.2 |

(注) 包括利益 2022年3月期 4,095百万円 (6.6%) 2021年3月期 3,840百万円 (511.7%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2022年3月期 | 228.33 | | 9.8 | 6.1 | 3.1 |
| 2021年3月期 | 113.23 | | 5.4 | 3.5 | 1.6 |

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 百万円 2021年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期 | 93,078 | 38,023 | 40.9 | 2,462.10 |
| 2021年3月期 | 76,381 | 35,030 | 45.9 | 2,220.42 |

(参考) 自己資本 2022年3月期 38,023百万円 2021年3月期 35,030百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年3月期 | 792 | 244 | 580 | 13,565 |
| 2021年3月期 | 1,589 | 141 | 309 | 12,629 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2021年3月期 | | 17.00 | | 17.00 | 34.00 | 536 | 30.0 | 1.6 |
| 2022年3月期 | | 17.00 | | 20.00 | 37.00 | 577 | 16.2 | 1.6 |
| 2023年3月期(予想) | | 20.00 | | 20.00 | 40.00 | | 17.2 | |

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 83,100 | 17.1 | 2,600 | 23.3 | 2,700 | 23.0 | 1,900 | 22.5 | 123.03 |
| 通期 | 164,700 | 6.7 | 5,000 | 4.1 | 5,200 | 0.1 | 3,600 | 0.6 | 233.11 |

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年3月期 | 16,044,000 株 | 2021年3月期 | 16,044,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2022年3月期 | 600,439 株 | 2021年3月期 | 267,312 株 |
| 期中平均株式数 | 2022年3月期 | 15,668,261 株 | 2021年3月期 | 15,776,786 株 |

(参考)個別業績の概要

2022年3月期の個別業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期 | 115,811 | 7.0 | 3,046 | 154.5 | 3,944 | 138.2 | 2,759 | 149.0 |
| 2021年3月期 | 108,252 | 1.9 | 1,197 | 7.0 | 1,656 | 2.9 | 1,108 | 10.6 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | 176.14 | |
| 2021年3月期 | 70.26 | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|--------|--|--------|--|--------|--|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 銭 | |
| 2022年3月期 | 73,584 | | 28,050 | | 38.1 | | 1,816.31 | |
| 2021年3月期 | 62,932 | | 26,908 | | 42.8 | | 1,705.56 | |

(参考) 自己資本 2022年3月期 28,050百万円 2021年3月期 26,908百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

2. 当社は、2022年5月17日(火)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (会計方針の変更) | 12 |
| (表示方法の変更) | 12 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (1株当たり情報) | 15 |
| (重要な後発事象) | 15 |
| 4. その他 | 16 |
| (1) 役員の異動 | 16 |
| (2) 仕入、受注及び販売の状況 | 16 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大による各種制限が断続的に発出されたことで経済活動の抑制が続いておりましたが、コロナ禍からの正常化が進んだことで内外需ともに持ち直しが見られており、景気の回復が続いております。世界経済については、欧米においてはウィズコロナ体制への移行が進み、供給制約が解消しつつあり、景気の回復が続いております。また、厳格なゼロコロナ政策が続いている中国では、政府による政策展開が下支えとなり、景気の拡大が継続いたしました。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、半導体関連業界や産業機械業界を中心に設備投資が積極的に行われました。また、部材の供給不足による生産影響を考慮した先行手配などもあり、需要は総じて高い水準で推移いたしました。

このような環境の中、当連結会計年度の業績は、売上高1,544億14百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益48億4百万円（前年同期比123.2%増）、経常利益51億95百万円（前年同期比102.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益35億77百万円（前年同期比100.3%増）となり、前年同期を上回る結果となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[電機部門]

電機部門では、産業機械業界向けの電機品及び制御機器、半導体関連業界向けの電機品、太陽光関連業界向けの電機品の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は311億98百万円（前年同期比34.7%増）となりました。

[電子部門]

電子部門では、産業機械業界向けの電子部品、半導体関連業界向けの電子部品、電子機器及びコネクタ、OA機器関連業界向けの電子部品の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は1,146億55百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

[機械部門]

機械部門では、半導体関連業界向けの搬送機器、生活用品業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。F P D関連業界向けの搬送機器の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は85億60百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

国内では産業機械業界向けの電機品、制御機器及び電子部品、半導体関連業界向けの電機品、電子機器、コネクタ及び搬送装置が増加いたしました。F P D関連業界向けの搬送装置の販売が減少いたしました。この結果、売上高1,158億11百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益30億49百万円（前年同期比154.8%増）となりました。

② アジア

アジア地域では、産業機械業界向けの電子部品、半導体関連業界向けの電機品及び電子部品、太陽光関連業界向けの電機品の販売が増加いたしました。この結果、売上高522億16百万円（前年同期比47.1%増）、営業利益19億24百万円（前年同期比109.8%増）となりました。

③ 欧米

欧米では、産業機械業界向けの電子部品、生活用品業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。輸送費高騰の影響を大きく受け営業損失となりました。この結果、売上高62億14百万円（前年同期比31.9%増）、営業損失1億8百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

④ その他

売上高は7億48百万円（前年同期比19.7%減）、営業損失16百万円（前年同期は営業利益16百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は930億78百万円となり前連結会計年度末に比べ166億96百万円増加しました。受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権、商品の増加が主な要因であります。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は550億54百万円となり前連結会計年度末に比べ137億3百万円増加しました。支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加が主な要因であります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は380億23百万円となり前連結会計年度末に比べ29億92百万円増加しました。利益剰余金の増加が主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9億35百万円増加し、当連結会計年度末には135億65百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果取得した資金は7億92百万円（前年同期比50.1%減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益（52億23百万円）、仕入債務の増加（104億31百万円）等による増加がある一方で、売上債権の増加（85億円）、棚卸資産の増加（37億11百万円）、法人税等の支払（9億56百万円）等により一部減少したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億44百万円（前年同期は1億41百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入（4億82百万円）等による増加がある一方で、有形固定資産の取得による支出（1億83百万円）、投資有価証券の取得による支出（41百万円）等により一部減少したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5億80百万円（前年同期比87.5%増）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出（6億円）及び配当金の支払（5億36百万円）等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 2021年3月期 | 2022年3月期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 36.2 | 43.1 | 44.2 | 45.9 | 40.9 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 33.9 | 18.7 | 17.9 | 22.3 | 22.4 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%) | — | 409.7 | 207.2 | 443.4 | 984.8 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | — | 16.4 | 44.7 | 33.9 | 17.0 |

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス用ワクチンや治療薬の普及によりコロナ禍からの正常化がより一層進むことで、景気の回復が続くとみられます。しかしながら、新型コロナウイルス変異株の出現や感染再拡大に対する各国政策による経済活動の制限、エネルギー価格の上昇、ウクライナ情勢の緊迫化の影響等により、景気に関する先行きは不透明な状況が続くと見込まれます。

このような情勢のもと、当社グループでは2023年3月期から2025年3月期までの3ヶ年を対象とする第11次中期経営計画「**SNS 2024 (Sun-wa New Stage 2024)**」を新たに策定いたしました。最重要経営指標 (KGI) を営業利益額とし、最終年度となる2025年3月期に営業利益70億円達成を目標に、業績の拡大と収益性の向上に努めてまいります。

2023年3月期の連結業績予想は以下のとおりであります。

| | |
|------|------------|
| 売上高 | 164,700百万円 |
| 営業利益 | 5,000百万円 |
| 経常利益 | 5,200百万円 |

本資料に記載されている連結業績予想などの将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと認識し、業績の進展状況及び経営環境等を総合的に勘案し、安定的かつ継続的な利益還元を行ってゆくことを基本方針としております。

内部留保につきましては、中長期的な視点に立ち、事業環境の急激な変動に対応出来る企業体質の確立と、海外展開、環境問題、品質管理への対応など将来の積極的な事業展開に対し柔軟に対応するため経営基盤の強化を図ってゆく方針でございます。

当期の利益配当金につきましては、2022年5月9日開催の取締役会決議により、期末配当を1株当たり20円とし、中間配当(1株当たり17円)と合わせ、年間配当37円とさせていただきます。

なお、次期より、持続的な成長と企業価値の向上のための積極的な事業展開や様々なリスクに備えるための財務健全性とのバランスを考慮し、中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行い、株主還元や資本効率向上のため、時期及び財政状況に応じて機動的に自己株式の取得を実施することを基本方針に追加いたします。

次期の利益配当金につきましては、1株当たり40円(うち中間配当20円)を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 13,113 | 14,049 |
| 受取手形及び売掛金 | 36,392 | — |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | — | 43,146 |
| 電子記録債権 | 6,061 | 8,851 |
| 商品 | 7,935 | 12,006 |
| 仕掛品 | 0 | 0 |
| その他 | 1,036 | 4,310 |
| 貸倒引当金 | △109 | △155 |
| 流動資産合計 | 64,430 | 82,209 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,745 | 1,359 |
| 減価償却累計額 | △1,193 | △949 |
| 建物及び構築物(純額) | 551 | 409 |
| 土地 | 1,730 | 1,356 |
| リース資産 | 545 | 562 |
| 減価償却累計額 | △377 | △345 |
| リース資産(純額) | 168 | 217 |
| その他 | 525 | 656 |
| 減価償却累計額 | △385 | △409 |
| その他(純額) | 140 | 247 |
| 有形固定資産合計 | 2,590 | 2,230 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 170 | 226 |
| 無形固定資産合計 | 170 | 226 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,995 | 7,215 |
| 繰延税金資産 | 36 | 36 |
| その他 | 1,338 | 1,281 |
| 貸倒引当金 | △179 | △122 |
| 投資その他の資産合計 | 9,190 | 8,411 |
| 固定資産合計 | 11,951 | 10,868 |
| 資産合計 | 76,381 | 93,078 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 16,554 | 23,472 |
| 電子記録債務 | 12,901 | 17,204 |
| 短期借入金 | 4,148 | 5,405 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 500 | 2,400 |
| リース債務 | 93 | 93 |
| 未払法人税等 | 393 | 1,244 |
| 未払費用 | 1,269 | 1,806 |
| その他 | 510 | 1,171 |
| 流動負債合計 | 36,372 | 52,797 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,400 | — |
| リース債務 | 91 | 150 |
| 繰延税金負債 | 1,203 | 859 |
| 長期未払金 | 199 | 177 |
| 役員退職慰労引当金 | 104 | 114 |
| 退職給付に係る負債 | 978 | 955 |
| 固定負債合計 | 4,978 | 2,257 |
| 負債合計 | 41,350 | 55,054 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,727 | 3,727 |
| 資本剰余金 | 3,548 | 3,549 |
| 利益剰余金 | 23,827 | 26,867 |
| 自己株式 | △300 | △867 |
| 株主資本合計 | 30,802 | 33,277 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,235 | 3,721 |
| 為替換算調整勘定 | △7 | 1,024 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,228 | 4,746 |
| 純資産合計 | 35,030 | 38,023 |
| 負債純資産合計 | 76,381 | 93,078 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 134,769 | 154,414 |
| 売上原価 | 120,545 | 135,642 |
| 売上総利益 | 14,224 | 18,772 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,071 | 13,967 |
| 営業利益 | 2,152 | 4,804 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 12 | 19 |
| 受取配当金 | 102 | 108 |
| 仕入割引 | 56 | 78 |
| 為替差益 | 94 | — |
| 受取家賃 | 134 | 134 |
| その他 | 121 | 152 |
| 営業外収益合計 | 522 | 493 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 48 | 45 |
| 売上債権売却損 | 31 | 39 |
| 為替差損 | — | 2 |
| その他 | 27 | 14 |
| 営業外費用合計 | 107 | 102 |
| 経常利益 | 2,567 | 5,195 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 21 |
| 投資有価証券売却益 | 7 | 61 |
| 特別利益合計 | 7 | 82 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 10 | 22 |
| 減損損失 | 42 | 32 |
| 会員権評価損 | 9 | — |
| 特別損失合計 | 62 | 54 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,513 | 5,223 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 815 | 1,759 |
| 法人税等調整額 | △88 | △113 |
| 法人税等合計 | 726 | 1,646 |
| 当期純利益 | 1,786 | 3,577 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1,786 | 3,577 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 1,786 | 3,577 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,156 | △514 |
| 為替換算調整勘定 | △102 | 1,032 |
| その他の包括利益合計 | 2,054 | 517 |
| 包括利益 | 3,840 | 4,095 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 3,840 | 4,095 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 3,727 | 3,548 | 22,577 | △300 | 29,552 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | — |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 3,727 | 3,548 | 22,577 | △300 | 29,552 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △536 | | △536 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,786 | | 1,786 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | | | | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 1,249 | △0 | 1,249 |
| 当期末残高 | 3,727 | 3,548 | 23,827 | △300 | 30,802 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|---------------|--------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 2,079 | 95 | 2,174 | 31,726 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | — |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 2,079 | 95 | 2,174 | 31,726 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △536 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 1,786 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | | | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 2,156 | △102 | 2,054 | 2,054 |
| 当期変動額合計 | 2,156 | △102 | 2,054 | 3,303 |
| 当期末残高 | 4,235 | △7 | 4,228 | 35,030 |

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 3,727 | 3,548 | 23,827 | △300 | 30,802 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | △0 | | △0 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 3,727 | 3,548 | 23,827 | △300 | 30,801 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △536 | | △536 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 3,577 | | 3,577 |
| 自己株式の取得 | | | | △600 | △600 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | 1 | | 33 | 35 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 1 | 3,040 | △566 | 2,475 |
| 当期末残高 | 3,727 | 3,549 | 26,867 | △867 | 33,277 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|----------|-------------------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益 累計額合計 | |
| 当期首残高 | 4,235 | △7 | 4,228 | 35,030 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | △0 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 4,235 | △7 | 4,228 | 35,030 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △536 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 3,577 |
| 自己株式の取得 | | | | △600 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | | | 35 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △514 | 1,032 | 517 | 517 |
| 当期変動額合計 | △514 | 1,032 | 517 | 2,993 |
| 当期末残高 | 3,721 | 1,024 | 4,746 | 38,023 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,513 | 5,223 |
| 減価償却費 | 326 | 306 |
| 減損損失 | 42 | 32 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 57 | △23 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △45 | △11 |
| 受取利息及び受取配当金 | △115 | △127 |
| 支払利息 | 48 | 45 |
| 為替差損益 (△は益) | △18 | 27 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △7 | △61 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | 10 | 0 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △2,726 | △8,500 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 2,019 | △3,711 |
| その他の資産の増減額 (△は増加) | △114 | △3,241 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 512 | 10,431 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △26 | △18 |
| その他の負債の増減額 (△は減少) | △54 | 1,212 |
| その他 | 42 | 82 |
| 小計 | 2,462 | 1,667 |
| 利息及び配当金の受取額 | 115 | 127 |
| 利息の支払額 | △46 | △46 |
| 法人税等の支払額 | △941 | △956 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,589 | 792 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △53 | △183 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2 | 482 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △42 | △41 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 17 | 140 |
| その他 | △64 | △153 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △141 | 244 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 339 | 1,158 |
| 長期借入金の返済による支出 | — | △500 |
| リース債務の返済による支出 | △112 | △101 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △600 |
| 配当金の支払額 | △536 | △536 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △309 | △580 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △77 | 478 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 1,061 | 935 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 11,568 | 12,629 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 12,629 | 13,565 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、買戻し契約に該当する有償支給取引については、従来は支給先から受け取る対価を収益として認識しておりましたが、当該収益を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、当連結会計年度の売上高及び売上原価は170億43百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は0百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当連結会計年度より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「補助金収入」は金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「補助金収入」に表示していた33百万円は、「その他」として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に電機部門・電子部門・機械部門の各取扱製品の販売を主たる業務としており、国内においては当社が、海外においてはアジア、欧米の各地域の現地法人がそれぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案しておりますが、経済的特徴・製品そして市場等の類似性を勘案し、地域ごとに集約して、「日本」、「アジア」及び「欧米」の3つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、電動機、制御装置、産業用ロボット、電子機器及び部品、産業用機械、工業計器及び計装類の販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2, 3 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 4 |
|------------------------|---------|--------|-------|---------|--------------|---------|--------------------|----------------------------|
| | 日本 | アジア | 欧米 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 98,011 | 32,017 | 3,849 | 133,879 | 890 | 134,769 | — | 134,769 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 10,240 | 3,474 | 861 | 14,577 | 40 | 14,617 | △14,617 | — |
| 計 | 108,252 | 35,492 | 4,711 | 148,456 | 931 | 149,387 | △14,617 | 134,769 |
| セグメント利益又は損 失 (△) | 1,197 | 917 | △1 | 2,113 | 16 | 2,129 | 23 | 2,152 |
| セグメント資産 | 62,981 | 15,351 | 1,979 | 80,311 | 1,013 | 81,325 | △4,943 | 76,381 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 266 | 49 | 6 | 322 | 3 | 326 | — | 326 |
| 有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 | 67 | 64 | 3 | 134 | 1 | 136 | — | 136 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額23百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び棚卸資産の調整額7百万円が含まれております。

3. セグメント資産の調整額△4,943百万円は、セグメント間債権・債務の相殺消去等であります。

4. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2, 3 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 4 |
|------------------------|---------|--------|-------|---------|--------------|---------|--------------------|----------------------------|
| | 日本 | アジア | 欧米 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 101,074 | 47,188 | 5,429 | 153,693 | 721 | 154,414 | — | 154,414 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 14,736 | 5,028 | 784 | 20,548 | 26 | 20,575 | △20,575 | — |
| 計 | 115,811 | 52,216 | 6,214 | 174,241 | 748 | 174,990 | △20,575 | 154,414 |
| セグメント利益又は損 失 (△) | 3,049 | 1,924 | △108 | 4,865 | △16 | 4,849 | △44 | 4,804 |
| セグメント資産 | 73,636 | 22,323 | 2,732 | 98,692 | 895 | 99,588 | △6,510 | 93,078 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 244 | 52 | 6 | 303 | 3 | 306 | — | 306 |
| 有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 | 317 | 107 | 3 | 428 | 3 | 431 | — | 431 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△44百万円には、セグメント間取引消去16百万円及び棚卸資産の調整額△61百万円が含まれております。

3. セグメント資産の調整額△6,510百万円は、セグメント間債権・債務の相殺消去等であります。

4. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

| | 電機部門 | 電子部門 | 機械部門 | 合計 |
|-----------|--------|---------|-------|---------|
| 外部顧客への売上高 | 23,157 | 102,657 | 8,955 | 134,769 |

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

| 日本 | 中国 | アジア (中国除く) | その他 | 合計 |
|--------|--------|---------------|-------|---------|
| 99,162 | 22,828 | 8,644 | 4,134 | 134,769 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

各顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

| | 電機部門 | 電子部門 | 機械部門 | 合計 |
|-----------|--------|---------|-------|---------|
| 外部顧客への売上高 | 31,198 | 114,655 | 8,560 | 154,414 |

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

| 日本 | 中国 | アジア (中国除く) | その他 | 合計 |
|---------|--------|---------------|-------|---------|
| 103,270 | 34,409 | 11,242 | 5,492 | 154,414 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

各顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：百万円)

| | 日本 | アジア | 欧米 | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|----|-----|----|-----|-------|----|
| 減損損失 | 42 | — | — | — | — | 42 |

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：百万円)

| | 日本 | アジア | 欧米 | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|----|-----|----|-----|-------|----|
| 減損損失 | 28 | — | 3 | — | — | 32 |

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 2,220.42円 | 1株当たり純資産額 2,462.10円 |
| 1株当たり当期純利益 | 113.23円 | 1株当たり当期純利益 228.33円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 1,786 | 3,577 |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 1,786 | 3,577 |
| 期中平均株式数 (千株) | 15,776 | 15,668 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

役員の変動につきましては、2022年3月22日付「代表取締役および役員等の変動に関するお知らせ」にて既に発表済みであります。

(2) 仕入、受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当連結会計年度の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 前年同期比 (%) |
|----------------|--|-----------|
| 日本 (百万円) | 99,007 | 107.6 |
| アジア (百万円) | 36,162 | 157.7 |
| 欧米 (百万円) | 4,025 | 141.8 |
| 報告セグメント計 (百万円) | 139,195 | 118.2 |
| その他 (百万円) | 518 | 79.8 |
| 合計 (百万円) | 139,713 | 117.9 |

②受注状況

当連結会計年度の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高 (百万円) | 前年同期比 (%) | 受注残高 (百万円) | 前年同期比 (%) |
|----------|--------------|-----------|---------------|-----------|
| 日本 | 132,351 | 131.1 | 50,244 | 264.9 |
| アジア | 60,342 | 184.4 | 21,098 | 265.6 |
| 欧米 | 6,453 | 180.4 | 1,579 | 284.3 |
| 報告セグメント計 | 199,148 | 145.1 | 72,922 | 265.5 |
| その他 | 783 | 104.8 | 159 | 163.7 |
| 合計 | 199,931 | 144.9 | 73,081 | 265.1 |

③販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 前年同期比 (%) |
|----------------|--|-----------|
| 日本 (百万円) | 101,074 | 103.1 |
| アジア (百万円) | 47,188 | 147.4 |
| 欧米 (百万円) | 5,429 | 141.0 |
| 報告セグメント計 (百万円) | 153,693 | 114.8 |
| その他 (百万円) | 721 | 81.0 |
| 合計 (百万円) | 154,414 | 114.6 |

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。